

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語指導者養成】

受託団体名 結城市国際交流友好協会

1 事業の趣旨・目的

結城市における地域日本語教育のニーズに合わせた日本語指導者養成講座の在り方を探る。人材の少ない小都市で市民を巻き込み、多文化共生のための理解を深めながら支援法を習得する。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
7月29日	結城市役所 第3会議室	平塚 到 黒田 吉則 富永 立子 渡部 良英 長谷川 恒雄 角田 亮子 本田 亜紀子 山田 忠治 協会事務局3名	(1)文化庁委託事業「生活者としての外国人のための日本語教育事業」の概要について (2)多文化共生のための日本語指導養成講座について (3)その他	・文化庁事業の目的・事業概要について説明を行った。 ・講座概要、講座内容について検討した。 ・講座に向けてのアドバイスや事例の紹介及び意見交換を行った。 ・修了証の発行について検討することとした。
10月23日	結城市役所 第3会議室	平塚 到 黒田 吉則 富永 立子 長谷川 恒雄 角田 亮子 本田 亜紀子 山田 忠治 橋爪 ゆり 協会事務局3名	(1)多文化共生のための日本語指導者養成講座「日本語支援ボランティア養成講座」の進捗状況について (2)その他	・第1回～6回までの講座開催結果について振り返りを行い、意見交換をした。 ・講座申込者数及び受講者数について、説明した。 ・第7回以降の講座内容について検討した。 ・修了証の発行をすることとした。

1月22日	結城市役所 第2会議室	平塚 到 黒田 吉則 富永 立子 渡部 良英 長谷川 恒雄 角田 亮子 本田 亜紀子 山田 忠治 橋爪 ゆり 協会事務局2名	(1) 多文化共生のための 日本語指導者養成講座 「日本語支援ボランティア養成講座」の報告について (2) その他	・報告書の構成, 受講者アンケート考察, 受講者数について報告を行い, 確認した。 ・第7回~10回の講座内容及び全体のまとめについて振り返りを行い, 意見交換をした。 ・受講者の日本語教室「のびる会」への入会状況について報告し, 今後の人材活用について検討した。
-------	----------------	---	--	--

【写真】



3 養成講座の内容について

- (1) 養成講座名 日本語支援ボランティア養成講座
- (2) 養成講座の目標 基礎的な日本語教授法, 講義や体験を通しての異文化理解ややさしい日本語によるコミュニケーション法を学ぶ。
- (3) 受講者の総数 37 人
- (4) 開催時間数(回数) 20 時間 (10 回)
- (5) 参加対象者の要件 外国人に対する日本語支援に興味, 関心がある人
- (6) 受講者の募集方法 ・結城市広報お知らせ版8月1日号, 15日号により募集広報を行った。
・当協会ホームページにより募集広報を行った。
・募集チラシ・ポスターを関係各所へ配布した。
・各市内小中学校 学校教育関係者へ募集周知を行った。

(7) 研修会場 結城市民情報センター, 結城市民文化センター アクロス

(8) 使用した教材・リソース

講座において担当講師が資料を作成し, 各回配布した。また, 下記の教材を使用した。

『みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊』

『みんなの日本語 初級Ⅱ 本冊』

『みんなの日本語 初級Ⅰ 携帯用絵教材』

『日本語おしゃべりのたね』

『にほんご宝船 いっしょに作る活動集』

『にほんご宝船 教える人のための知恵袋』

『みんなの日本語初級Ⅰ 教え方の手引き』

『みんなの日本語初級Ⅱ 教え方の手引き』

『みんなの日本語 初級Ⅰ 翻訳・文法解説 ポルトガル語版』

『みんなの日本語 初級Ⅰ 翻訳・文法解説 スペイン語版』

『みんなの日本語 初級Ⅰ 翻訳・文法解説 インドネシア語版』

『みんなの日本語 初級Ⅰ 翻訳・文法解説 中国語版』

『みんなの日本語 初級Ⅰ 翻訳・文法解説 ベトナム語版』

『みんなの日本語 初級Ⅰ 翻訳・文法解説 タイ語版』

『みんなの日本語 初級Ⅰ 翻訳・文法解説 英語版』

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
9月4日 18:30～20:30	多文化共生と日本語支援	大東文化大学外国語学部日本語 学科教授 学校法人長沼スクール非常勤研究員 長谷川 恒雄	35名
9月11日 18:30～20:30	結城市民(外国人・日本人)の声を聞こう	結城市小中学校日本語指導協力員 本田 亜紀子 ブラジルにルーツあり 金城 明	29名
9月18日 18:30～20:30	結城市民(外国人・日本人)の声を聞こう	技能実習生(タイ) ジャムパーケーオ ニコム 主婦(台湾) 寺山 美妃	24名
10月2日 18:30～20:30	異文化体験をしよう ～ペルシャ語で“こんにちは”～	大東文化大学大学院外国語学研 究科日本語文化専攻博士前 期課程 ナジミ フェレシテ	24名
10月9日 18:30～20:30	日本語の教え方の基礎	水戸短期大学非常勤講師 (財)茨城県国際交流協会日本語 教育アドバイザー 松浦 みゆき	26名
10月16日 18:30～20:30	日本語の教え方の基礎	水戸短期大学非常勤講師 (財)茨城県国際交流協会日本語 教育アドバイザー 松浦 みゆき	26名
10月23日 18:30～20:30	日本語の教え方の基礎	水戸短期大学非常勤講師 (財)茨城県国際交流協会日本語 教育アドバイザー 松浦 みゆき	24名
10月30日 18:30～20:30	やさしい日本語の 作り方	宇都宮大学大学院国際学研究科 博士前期課程 日本語ボランティア教室のびる会メンバー 角田 亮子	25名

11月6日 18:30～20:30	外国人と交流しよう	宇都宮大学大学院国際学研究科 博士前期課程 日本語ボランティア教室のびる会メンバー 角田 亮子	21名
11月13日 18:30～20:30	外国人と交流しよう	宇都宮大学大学院国際学研究科 博士前期課程 日本語ボランティア教室のびる会メンバー 角田 亮子	26名

(10) 講座の評価

①受講生に対するアンケート

・講座ごとに理解度、興味度を評価してもらった。全講座ともに「よく理解できた」、「大変興味を持てた」という受講者が多く、講座内容について好評であったことが伺えた。異文化理解を主とした第4回、第10回の回では、「大変興味を持てた」という受講者が特に多く、ペルシャ語に触れたり、外国人と交流したりといった体験型の講座に興味をもつ受講者が多かった。

・「今後、この講座で学んだことをどのように活かしていきたいですか。」という設問には、「日常生活において外国人と接する際に活かしたい」や「地域での活動に活かしたい」という方が多く、今回の講座で学んだことが地域における外国人支援の推進につながっていくのではないかと感じた。

②実施主体からの研修内容結果評価

・講座内容が日本語教授法だけでなく、異文化理解・接触を盛り込んだ幅広い内容としたことで、受講者それぞれが、個々の立場から行える日本語支援の形を探ることができたようである。また、講座を通して様々な分野で豊かな経験をもつ受講者がつながりをもつことができ、今後日本語支援にどのように関わり合いを持っていくのか考える機会となった。

③実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

・日本語教室との連携を図り、日本語指導者の人材の確保・育成を行っていく。
・地域社会においても外国人支援ができる体制をつくり、人と人とのつながりのあるネットワークを確立していくための支援を行っていく。

(11) 事業の成果

①他事業との連携

・受講者のうち、数名の方が日本語教室「のびる会」へ見学、入会し日本語支援活動を行っている。また、6月からのびる会にて活動を始めていた数名の方が講座を受講し、現在も活動を続けている。

②研修後の人材活用

- ・日本語教室「のびる会」の参加を通し、外国人への日本語支援を行ってもらおう。
- ・地域においては、外国人との接触を通し、多文化共生のための地域づくりに貢献してもらおう。
- ・学校教育関係者には、校内の児童生徒に対する生活・日本語支援の意識を高めると同時に日本人児童生徒を含む子どもたちへの異文化理解教育に力を注いでもらう。

(12) 今後の課題

- ・受講について、日本語教授法のみに興味を持った方は早い段階で受講することをやめ、今回の事業目的に賛同した方たちがほとんどの回を休むことなく受講された。このことから、事前に講座のより詳細な趣旨・目的を理解できる周知を行う必要があった。
- ・本格的な日本語指導を行うためには、今回の講座に加え、さらなる知識の習得が望まれる。また、講座開催にあたっては、講師や企画運営を行う人材確保が必要である。